



MYタウン

赤坂 AKASAKA

青山 AOYAMA

地域情報誌

編集:港区赤坂青山地区タウンミーティング 地域情報の発信・交流分科会
発行:港区赤坂地区総合支所協働推進課 赤坂青山地域情報誌 第12号 発行部数 22,000部

特集 Xメディアの街

特集 Xメディアの街

今の時代、政治も経済も文化も何もかもがメディア抜きには語れません。中でも、テレビというマス・メディアの影響力の大きさは群を抜いています。そのテレビの全国ネットのキー局6局が、全て港区にある(NHKは渋谷区)のは皆さんご存知でしょうか？
わが街「赤坂・青山」には、その港区の中でも特にメディア関係のオフィスが多く存在しています。

今回の特集は、そんなメディア会社が赤坂・青山とどのように関わっているのか、「知られざる一面」を一緒に覗いてみませんか？

アイベックス・グループ

音楽の発信地・青山で多様な事業を展開し、音楽業界に新風を巻き起こしています

爽快、気温22℃、湿度50%弱。微風。街路樹の葉がゆれる爽快な日の取材になりました。

「avex」社は、国道246号線、通称青山通りに面し、社屋の前に広場を有する赤レンガ造りの、何か「ゆとり」を感じさせる構えのビルでした。最近、大きな電飾パネルも設置されて、道行く人々に、最新作のCFも放映され、音楽業界トップと言われる華やかさもアピールされている一方、街路樹のマロニエの葉がくれにマッチして一層懐の深さを見せていました。

広報と総務の両方に会いましたが、お二人とも、業界トップを走る会社らしく、若々しく、清潔で、礼儀正しく企業の内容、業界のこと、地域との協働路線を要領よくお話ししてくださいました。特に地域との密着度の深さには驚かされました。町会や地元商店連合会の主だった人

たちの名前まで出され、いかに、地元との連携に心くばりをされているかを知らされました。ありがたいことです。

社屋前の広場は、街の子どもたちの集まり場所として、また、お祭りや盆踊りの広場として提供して下さったり、催事ごとに積極的にご協力

力いただいている数少ない企業と言えるかもしれません。青山とその近辺には、「avex」をはじめ、ソニー、ユニバーサル、ワーナー、コロムビア、トイズファクトリー、テイチク、ピクチャーと多くあり、レコード協会も外苑前のあるビルに所在し、青山こそ「音楽」の発信地とも言えるようです。avex-GHDを牽引するCEOのメッセージに、同社の精神が要領よく表現されていると思います。

「作り手ではなく、受け手の姿勢で臨んできた同社は、音楽業界に新風を巻き起こし、現在では、マーケットシェア首位も獲得できたが、「エンタテインメント業界は時流の変化が激しく、斬新な手法もすぐ業界の常識」となる。「初心を忘れず、前向きに自己否定を行うことで、新たな業界スタンダードを継続的に」生み出していく努力が大切と述べておられます。

実に先端に行く企業だと思いました。

博報堂

2008年に赤坂にやってきた日本を代表する総合広告会社です

2008年5月赤坂に博報堂がやってきました。創業は意外にも明治28年(1895年)、教育雑誌の取次店として日本橋に産声をあげました。その後1世紀を超えて事業拡大や移転を繰り返し、2008年5月に赤坂Bizタワーに移転。この都心の文化・情報発信の地で3000人余りの社員の気持ちも湧き立ったといえます。

博報堂は発想の原点を「生活者発想」に置いています。誰よりも深く生活者を知っているからこそ、クライアントと生活者、さらにはメディアとの架け橋を作れるのだと考えます。

博報堂は常に生活者の中に入り発想し、企業や社会のパートナーとして経済や社会を活性化し、豊かな生活文化を築くことを社業としてきました。「生活者や社会を幸せにする」という使命を果たすことこそが、創業以来の存在意義であり、社会が変化していくなかでも変わらない企業活動の本質と考えています。

会社として学校への講師派遣などの教育CSRにも取り組んでいます。地域との関わり方については、社員の自発的な意思を尊重しています。人々に喜んでいただけること、望まれること、社員のやりたいことを、基本的には、社員一人ひとりの力と責任で行っています。

その活動の一つが、「きれいな街は、人の心もきれいにする」をコンセプトに誕生した原宿参道発信の街の掃除を主な活動とする「グリーンパード」の赤坂チームの立ち上げです。商店会や近隣を訪れては趣旨説明をし、進入禁止区域やゴミの取り扱いの指導を受けました。現在は、隔週火曜日の朝、就業時間である9:30までの時間を約10名の社員を中心に他社員や商店会、通勤途中の人を交えて活動が広がり、赤坂通り、一ツ木通り、みすじ通りなどで清掃が2年ほど続いています。

社員や会社のあり方が極めて自然体である根底には、一過性のキャンペーンではなく、確実に継続できることをする——つまり無理なことには続かない、責任を持ってやることをするという姿勢があります。会社のロゴマークであるピククロン：(2つの赤い正方形)は、二つの物を向き合わせて新しい出会いを作るというコンセプトに基づいていますが、地域の中でも生活者、企業、団体や行政の新しい出会いや息の長い活動の発信に期待がふくらみます。

TBS

50年以上にわたって赤坂の地で放送を続けている街の顔といえる会社です

江戸時代の大名屋敷、明治時代の近衛三聯邸、その後国の管理を経て1955年に有楽町からTBSが移転して来て、ラジオ、テレビスタジオで放送を始めました。1961年にはスタジオ隣に本社屋が完成。この頃は街の人々からはTBS会館地下のトップスのケーキ、サクソンのカレーで親しまれました。更に1994年には現本社屋である放送センターが完成しお披露目の際に「オペラ座の怪人」が上演されました。1996年には赤坂BLITZ、四季劇場ができ上がり「美女と野獣」の上演がスタートしました。そして2008年3月に赤坂サカスが完成して現在の形になりました。

TBSは50年以上にわたって赤坂の地で放送を続けています。赤坂サカス完成後は放送センター、Sacas広場、結婚式場、ライブハウス、劇場、ギャラリーなどの諸施設が一体となって地元と密着した活動を展開しています。活動の一つとして春と秋の

赤坂・青山地区には本当にたくさんのメディア関連企業がありますが、紙面の都合ですべての企業を掲載することができませんでしたが、また、お忙しいところ取材に応じていただいた企業ならびに担当者の方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

ソニー・コンピュータエンタテインメント

プレイステーション®の会社のみなさんです。地域の町内会主催の新春の集いや祭り、地元小学校との合同の地域清掃の一場面、青山通り沿いにある4つのオフィスのうち、TK南青山ビルの本社1階にはそんな子どもたちを魅了してやまないゲーム機器が白垂のショールームに陳列されています。

「みんなが遊んでいるプレイステーション®の会社のみなさんです。」地域の町内会主催の新春の集いや祭り、地元小学校との合同の地域清掃の一場面、青山通り沿いにある4つのオフィスのうち、TK南青山ビルの本社1階にはそんな子どもたちを魅了してやまないゲーム機器が白垂のショールームに陳列されています。

この頃土曜日、日曜日のこの界隈の出入りが増えているように思えるのはミッドタウンの相乗効果もあるでしょうが、地元の間人としてはいはうれしいことです。

赤坂・青山地区には本当にたくさんのメディア関連企業がありますが、紙面の都合ですべての企業を掲載することができませんでしたが、また、お忙しいところ取材に応じていただいた企業ならびに担当者の方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

ソニー・コンピュータエンタテインメント

プレイステーション®の会社のみなさんです。地域の町内会主催の新春の集いや祭り、地元小学校との合同の地域清掃の一場面、青山通り沿いにある4つのオフィスのうち、TK南青山ビルの本社1階にはそんな子どもたちを魅了してやまないゲーム機器が白垂のショールームに陳列されています。

この頃土曜日、日曜日のこの界隈の出入りが増えているように思えるのはミッドタウンの相乗効果もあるでしょうが、地元の間人としてはいはうれしいことです。

赤坂・青山地区には本当にたくさんのメディア関連企業がありますが、紙面の都合ですべての企業を掲載することができませんでしたが、また、お忙しいところ取材に応じていただいた企業ならびに担当者の方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

東北新社

2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。

2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。

2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。

東北新社

2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。

2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。

2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。

宣伝会議

2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。

2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。

2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。2011年に創立50周年を迎えます。

高齢者の安全・安心のために「救急医療情報キット」

港区では、自宅での具合が悪くなり、救急車を呼ぶ「もしも…」のときの安全と安心を取り組みとして「救急医療情報キット」を配布しています。

「救急医療情報キット」とは… 容器に「診察券」(写)、「健康保険証」(写)、「服薬内容」、「写真」などの情報を入れ、自宅の冷蔵庫に保管していただくことで、救急隊員に救急時の情報を伝えます。

●申請・配布場所:各総合支所区民課・福祉会館・芝の家 ※65歳以上の方は、地域包括支援センターでも可能です。

●対象者:港区在住の高齢者・障害者、健康上不安をかかえている方

●費用:無料

●問い合わせ先:赤坂地区総合支所区民課保健福祉係 電話:03-5413-7276

平成22年度タウンミーティングが始動しました!

～4月26日、第1回タウンミーティング全体会を開催しました～

本年度は、「赤坂地区版計画推進分科会」「地域情報の発信・交流分科会」「まちの歴史伝承分科会」の3つの分科会を設置し、メンバー総勢49名の参加のもと、「未来に向け共存できるまち 赤坂・青山～コミュニケーションを育むまち～」の実現に取り組んでいます。

～それぞれの分科会の取り組み～

●赤坂地区版計画推進分科会…赤坂地区版計画の進捗状況の確認と地域課題及び地域事業の検討を行い、23年度に検討結果を「提言」として区に提出することを目的とし、取り組みを行っています。

●地域情報の発信・交流分科会…新たに子ども新聞コーナーの開設をし、子ども中高生共育事業の推進との連携を図り、地域情報誌「MYタウン赤坂・青山」の年間4回の発行に取り組んでいます。

●まちの歴史伝承分科会…地域におけるまちや人の歴史を次世代へ伝えるため、自ら取材・編集をし、冊子の作成に取り組んでいます

担当:協働推進課地区政策係 電話:03-5413-7013

赤坂・青山地区地域事業

赤坂地区総合支所では、講師の神田編音さんや赤坂・青山地区の地域のイベントなどに無料で派遣し、地域の方々に相談をお受けします! 随時、相談実施を希望する団体を募集しております。町会や商店会、学校や地域の団体のお会やイベント、勉強会など、様々な場面でご利用いただけます。是非一度、「相談」を聞いてみませんか? 行政情報の読み物と併せ、古典相談のご要望も受け付けます。

詳しくは、お気軽に担当までお問い合わせください。お申し込みをお待ちしております。

担当:協働推進課地区政策係 電話:03-5413-7013

この情報誌についてのご意見等ございましたら、ご一報ください。 赤坂地区総合支所協働推進課地区政策係 電話:03-5413-7013 FAX:03-5413-2019



